

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 清須市立新川中学校 】

1 実践テーマ	保健体育の授業と関連付けたオリンピック・パラリンピック教育
2 実施対象者	中学2年生（176名）
3 展開の形式	教科名：保健体育
4 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020年東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。 ○ パラリンピック競技を体験することで、障がい者スポーツへの理解を深める。
5 取組内容	<p>オリンピック・パラリンピック学習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習（3時間） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代生活におけるスポーツの文化的意義 ・ 國際的なスポーツ大会の文化的な役割 ・ 人々を結びつけるスポーツの文化的なはたらき ○ ゴールボールの体験学習（2時間） <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールボール・目隠し歩行体験学習 ○ 学習内容をまとめるとともにアンケートを実施する（1時間） <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のまとめ・アンケート <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>[オリンピック学習の様子]</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>[目隠し歩行体験の様子]</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>[ゴールボールを指導する様子]</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>[ゴールボールを楽しむ様子]</p> </div> </div>

	<p>○ 実践終了後、2年生176名を対象に事後アンケートを行った。その結果、オリンピックに対する興味・関心が高まったと回答した割合が89%となり、実践前より17ポイント上昇した。また、パラリンピックでは、86%となり、25ポイントの上昇となった。生徒たちからは「将来、オリンピックやパラリンピックにボランティアや応援などで参加したい」という声が多数あがった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>グラフ</p> <p>オリンピックの興味・関心</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導前</th> <th>指導後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72%</td> <td>89%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>パラリンピックの興味・関心</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導前</th> <th>指導後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61%</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>6 主な成果</p> <p>○ パラリンピック競技を体験したことで、生徒たちは、「障がいのある方の苦労や大変さを理解することができた」や「障がいの有無に関わらずスポーツは楽しめるものだと分かった」などの肯定的な意見が多数あがった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>ゴルボーラーは、みんなで協力できるところが良いと思います。 自分の声がプレイヤーの目になることで声かけは大切だと思いました。 また、ゴルボーラーは、障害の有無にかかわらず、共に喜び合えるし、楽しめると思いました。また、目隠し歩行体験では、 障がいのある方の生活がこんなにも大変なのかということがわかつり、障がいについて理解することができました。もし、障がいのある方を見かけたら、少しだけ力になりたいと意識も変わりました。</p> </div> <p style="text-align: center;">【事後アンケートの生徒の感想】</p>	指導前	指導後	72%	89%	指導前	指導後	61%	86%
指導前	指導後								
72%	89%								
指導前	指導後								
61%	86%								
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○ パラリンピック競技を体験する前に、視覚に障がいのある方の生活を理解するため、目隠し歩行体験を行った。ペアで一人が目隠しをし、もう一人が隣でサポートする実践を行った。生徒たちは、「視覚に障がいのある方は、音をとても頼りにしていることがよくわかった」という声があがった。</p>								
8 主な課題等	<p>○ 今後の課題は、今回の実践でオリンピックやパラリンピックに興味・関心が十分に高まらなかった生徒に対し、様々な人が一緒にスポーツを楽しむことによって、相手の気持ちを大切にしたり、互いに共感できたりすることに気付かせ、スポーツの価値について理解できるよう指導していくことである。</p>								
9 来年度以降の実践予定	<p>○ 今年度は、2年生を対象に実践を行った。来年度は今回の実践を全校で実施できるよう計画していきたい。</p>								